

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-263029

(43)Date of publication of application : 06.10.1998

(51)Int.Cl.

A61H 7/00

(21)Application number : 09-088772

(71)Applicant : FUJI IRYOKI:KK

(22)Date of filing : 24.03.1997

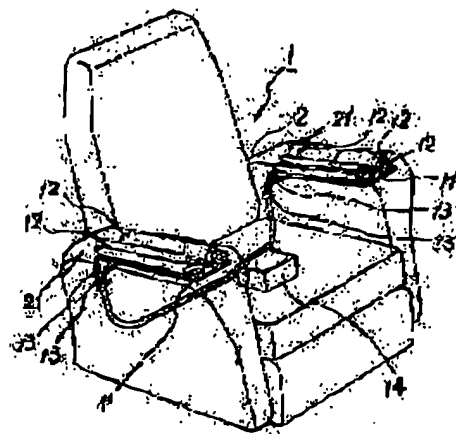
(72)Inventor : YAMANAKA NORIYUKI
FUJISHIRO MITSUAKI
YOSHIDA MASARU
WADA MASAKI

(54) PNEUMATIC HAND MASSAGER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a pneumatic hand massager which can provide an effective pneumatic massage by allowing hands and lower arms to easily rest on it, and applying pressures intermittently to the hands.

SOLUTION: This massager comprises inflatable bags 12, 12 opposed to each other at a certain interval on the right and left of the top of a fixed plate 11 on an appropriate part of the upper surface of the armrest part 21 of a chair main body 2 and a compressed-air supply/exhaust device 14 communicated to the inflatable bags 12, 12 via hoses 13, 13, and is fitted with a compressed air suction and exhaust means which allows human hands to freely rest on it and can give an expanding and contracting massage to the hands.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

02.03.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

Searching PAJ

2/2 ページ

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-263029

(43) 公開日 平成10年(1998)10月6日

(51) IntCl.⁶

A 6 1 H 7/00

識別記号

3 2 2

F I

A 6 1 H 7/00

3 2 2 D

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-88772

(22) 出願日 平成9年(1997)3月24日

(71) 出願人 000136491

株式会社フジ医療器

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

(72) 発明者 山中 宣幸

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

株式会社フジ医療器内

(72) 発明者 藤代 光明

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

株式会社フジ医療器内

(72) 発明者 吉田 勝

大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

株式会社フジ医療器内

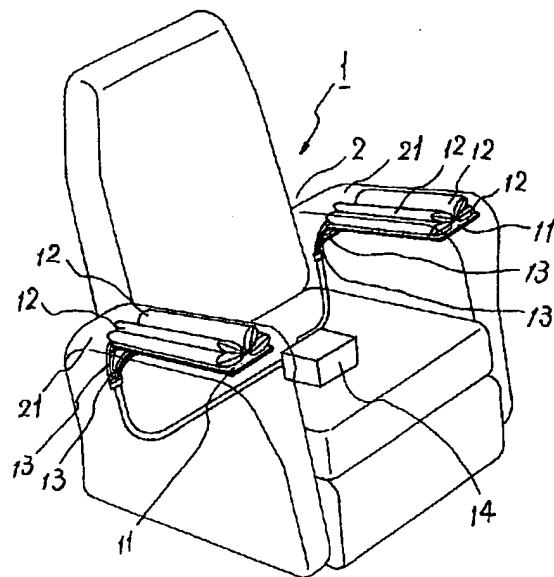
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 手用空気圧マッサージ機

(57) 【要約】

【課題】 手部及び下腕部を容易に載設して、手部に対する断続的に圧迫を加えて効果的な空気圧マッサージを行える手用空気圧マッサージ機を提供する。

【解決手段】 椅子本体2の肘掛部21の上面適所に固定板11の上部左右に一定間隔を存して対設される膨縮袋12・12と、各膨縮袋12・12に各々ホース13・13を介して連通される圧縮空気給排装置14とで構成し、人体手部3を載脱自在で該手部3に膨縮マッサージを付与し得る圧縮空気吸排気手段を配設して構成することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 椅子本体の肘掛部の上面適所に人体手부를載脱自在で該手部に膨縮マッサージを付与し得る圧縮空氣吸排氣手段を配設して構成することを特徴とする手用空氣圧マッサージ機。

【請求項2】 前記圧縮空氣吸排氣手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存して対設される膨縮袋と、各膨縮袋に各々ホースを介して連通される圧縮空氣給排装置とで構成することを特徴とする請求項1記載の手用空氣圧マッサージ機。

【請求項3】 前記圧縮空氣吸排氣手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存してそれぞれ重合状に対設される膨縮袋と、各膨縮袋に各々ホースを介して連通される圧縮空氣給排装置とで構成することを特徴とする請求項1記載の手用空氣圧マッサージ機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、圧縮空氣の給排に応じた膨脹・収縮する膨縮機構によって、使用者の手部に断続的に圧迫を加えてマッサージを行なう機構を備えた手用空氣圧マッサージ機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の椅子式マッサージ機は、例えば、空氣圧利用式のものにおいては、リクライニング可能な背凭れ部に、人体の腰部や背部や頸部をマッサージする為、空氣圧変化によって膨脹・収縮する袋体を内装し、また、座部に、臀部や大腿部をマッサージする為の前記同様の袋体を、内装して構成したものが一般的に知られている。

【0003】 また、近年においては、前記のような構成に加えて、脚部をマッサージする為の上記同様の袋体を内装した出沒可能な脚載せ部を設けて構成した椅子式空氣圧マッサージ機も周知のものとなっている。

【0004】 上記のような椅子式空氣圧マッサージ機においては、上記人体各部位に対応するように配設された各々の袋体に空氣の吸排氣を行わせるよう、これにホースを介して圧縮空氣給排装置を連通させる必要がある。

【0005】 またこの圧縮空氣吸排装置は、例えば座部の下などに内装されるよう設置されるのであるが、該給排装置から給排される圧縮空氣は、前記ホースを介して袋体を膨脹及び収縮させ、上記人体各部位を断続的に圧迫してマッサージを行なうことができ、揉み玉やローラー等によるマッサージに比較して、摩擦の少ないマッサージができるようにしている。

【0006】 また、上記椅子式空氣圧マッサージ機を採用した椅子の、背凭れ部にリクライニング機構を設け、脚載せ部に出沒機構を設けることにより、使用者の身体を略水平な状態にでき、この状態で空氣圧マッサージを行えるため、比較的快適な状態でのマッサージを行うことができる。

【0007】 この種従来の椅子式空氣圧マッサージ機においては、空氣圧変化によって膨脹及び収縮する袋体を背凭れ部や座部の他、他部位に互って配設させることができ、これら各袋体に空氣を吸排氣させて、それぞれ、人体の、腰部や背部の他、頸部や臀部或は大腿部や脚部に適度な空氣圧マッサージを施すことができるのであるが、人体の局部における、特に手部に對する空氣圧マッサージを施すことができず、またこのような手部を専門的にマッサージできるような局部専用マッサージ機も開発されていないのが現状である。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記のような問題点に鑑みてなされたものであり、手及び下腕部を容易に載設して、手や下腕部に対する効果的な空氣圧マッサージを行える手用空氣圧マッサージ機を提供することを目的としてなされたものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】 すなわち、本発明の手用空氣圧マッサージ機は、椅子本体の肘掛部の上面適所に人体手부를載脱自在で該手部に膨縮マッサージを付与し得る圧縮空氣吸排氣手段を配設して構成することを特徴とするものである。

【0010】 また、本発明の手用空氣圧マッサージ機は、前記圧縮空氣吸排氣手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存して対設される膨縮袋と、各膨縮袋に各々ホースを介して連通される圧縮空氣給排装置とで構成することを特徴とするものである。

【0011】 更に、本発明の手用空氣圧マッサージ機は、前記圧縮空氣吸排氣手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存してそれぞれ重合状に対設される膨縮袋と、各膨縮袋に各々ホースを介して連通される圧縮空氣給排装置とで構成することを特徴とするものである。

【0012】

【作用】 本発明は、上記のように構成することにより次のような作用をもたらす。まず、本発明の手用空氣圧マッサージ機においては、椅子本体の肘掛部の上面適所に人体手부를載脱自在で該手部に膨縮マッサージを付与し得る圧縮空氣吸排氣手段を配設しているため、使用者は着座状態で手及び下腕部を容易にマッサージし得る。

【0013】 また、本発明の手用空氣圧マッサージ機は、前記圧縮空氣吸排氣手段を、固定板の上部左右に膨縮袋を一定間隔を存して対設してこれを圧縮空氣吸排氣装置で互いに膨縮するよう吸排氣させる構成にしているため、使用者の手部及び下腕部を両側から挟持してマッサージすることができる。

【0014】 更に、本発明の手用空氣圧マッサージ機は、前記圧縮空氣吸排氣手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存して膨縮袋をそれぞれ重合状に対設されて、これらを圧縮空氣吸排氣装置で順次膨縮するよう吸排氣させる構成にしているため、使用者の手部及び下腕部を

両側から順次挾持して、圧迫感のあるマッサージを実施することができる。

【0015】

【発明の実施の態様】以下、本発明の手用空気圧マッサージ機を、図面に示す一実施例に基づいて説明する。図1は、本発明の手用空気圧マッサージ機1の一実施例を示す説明図であり、該手用空気圧マッサージ機1は、椅子本体2の肘掛部21の上面適所に固定板11の上部左右に一定間隔を存して対設される膨縮袋12・12と、各膨縮袋12・12に各々ホース13・13を介して連通される圧縮空気給排装置14とで構成し、図2に示すように、人体手部3を載脱自在で該手部3に膨縮マッサージを付与し得る圧縮空気吸排気手段を配設して構成している。

【0016】前記手用空気圧マッサージ機1は、例えば図2に示したように椅子本体2の両肘掛部21の上面適所に、固定板11の上部左右に一定間隔を存して対設される膨縮袋12・12を各々内装しており、椅子本体2の座部下部に外部電源（図示せず）に接続される圧縮空気給排装置14を配設し、該装置14と各膨縮袋12・12間に各々ホース13・13を介して、圧縮空気給排装置14からの吸排気をホース13・13を介して各膨縮袋12・12に連繋させ、各膨縮袋12・12を所定の時間毎のサイクルで繰り返し膨縮させることができるのである。

【0017】また、椅子本体2の両肘掛部21の上面適所に配設される膨縮袋12は、図3及び図4に示したように、固定板11の上部左右に一定間隔を存して重合状に膨縮袋12・12・12・12をそれぞれ対設させることで、これらを圧縮空気吸排気装置で順次膨縮するよう吸排気させ、使用者の人体手部3及び下腕部を両側から順次挾持して、圧迫感のあるマッサージを実施することができる。

【0018】よって、使用者は、椅子本体2の座部に着座して、人体手部3をこれら一対の膨縮袋12・12間に載設し、圧縮空気給排装置14に接続される外部電源（図示せず）を入力するだけで該電源からの電力供給により、人体手部3及び下腕部を各膨縮袋12・12が両側から挾持し、適度な加圧マッサージすることができるのである。

【0019】尚、前記膨縮袋12は、弾性を有し、空気漏れ防止に有効なポリウレタン等の素材や膨らみ過ぎ防止に有効な6ーナイロン等の合成繊維で袋状に構成されるものであり、例えば、内層の素材に空気漏れ防止に有効なポリウレタン等の合成繊維を使用し、また、外層の素材に膨らみ過ぎ防止に有効な6ーナイロン等の合成繊維を用いて、内外二層を有する袋体としてもよい。

【0020】また、前記膨縮袋12の上面部に、図示していないが突起体を設けてもよく、該突起体は一定間隔毎に配備してもよく、また不規則的に設けてもよく、更

にその突起体の形状や構成にも限定されるものではない。

【0021】前記ホース13は、ビニール材等の合成樹脂を中空状に形成されており、該ホース13の基端を圧縮吸排気装置14に接続すると共にその至端を前記膨縮袋12に接続し、前記膨縮袋12に圧縮吸排気装置14からの吸排気を伝達してこれを膨縮させるための仲介をなすものである。

【0022】前記圧縮空気給排装置14は、図示しないが、例えば、電動エアークンプレッサ等の空気圧縮機構を内蔵した装置であり、前記ホース13を介して上記膨縮袋12へ圧縮空気を吸排気させるためのものである。

【0023】前記圧縮空気給排装置14は、前述したようにホース13を介して膨縮袋12に連通するよう構成されているが、該圧縮空気吸排装置14にロータリバルブ等の給排通路選択切替手段を設けることで、該吸排装置14の吸排気口からの吸排気を使用者が選択できるようにすることもでき、これにより、各膨縮袋12・12の吸排気順を任意に変化させるようにすることもできる。

【0024】また、前記のように給排通路選択切替手段を設ける場合には、前記給排気制御装置4のロータリバルブ等の給排通路選択切替手段を制御する電子回路等の制御手段を内蔵させて構成する。

【0025】

【発明の効果】よって本発明の手用空気圧マッサージ機は、椅子本体の肘掛部の上面適所に人体手部を載脱自在で該手部に膨縮マッサージを付与し得る圧縮空気吸排気手段を配設して構成しているため、使用者は着座状態で人体手部を肘掛部に載設して電源を入力するだけで、従来のマッサージ機では行い得ない人体手部及び下腕部のマッサージを適度且つ快適に行うことができる。

【0026】また、本発明の手用空気圧マッサージ機は、前記圧縮空気吸排気手段を、固定板の上部左右に膨縮袋を一定間隔を存して対設してこれを圧縮空気吸排気装置で互いに膨縮するよう吸排気させる構成にしているため、使用者の手部及び下腕部を両側から挾持してマッサージすることができ、指圧効果を付与させることができる。

【0027】更に、本発明の手用空気圧マッサージ機は、前記圧縮空気吸排気手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存して膨縮袋をそれぞれ重合状に対設されて、これらを圧縮空気吸排気装置で順次膨縮するよう吸排気させる構成にしているため、使用者の手部及び下腕部を両側から順次挾持して、圧迫感のある強固なマッサージを実施することができる。

【0028】更に、本発明の手用空気圧マッサージ機は、前記圧縮空気吸排気手段を、固定板の上部左右に一定間隔を存して膨縮袋をそれぞれ重合状に対設されて、これらを圧縮空気吸排気装置で順次膨縮するよう吸排気

させる構成にし、該圧縮空気吸排装置にロータリバルブ等の給排通路選択切替手段を設け、これを制御する電子回路等の制御手段を内蔵させることで、該吸排装置の吸排気口からの吸排気を使用者が選択でき、各膨縮袋の吸排気順を任意に変化させて、使用者の好みのマッサージを選択使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の手用空気圧マッサージ機の一実施例を示した説明図である。

【図2】本発明の手用空気圧マッサージ機の使用状態を示す説明図である。

【図3】本発明の手用空気圧マッサージ機における圧縮

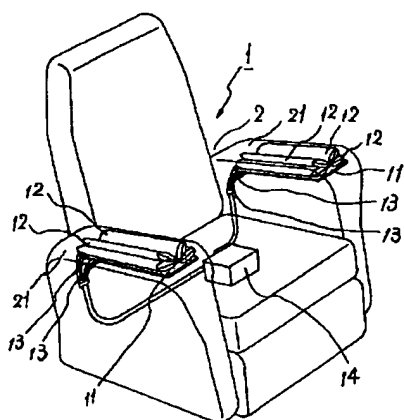
空気吸排気手段の一実施例を示す説明図である。

【図4】本発明の手用空気圧マッサージ機における圧縮空気吸排気手段の一実施例を示す説明図である。

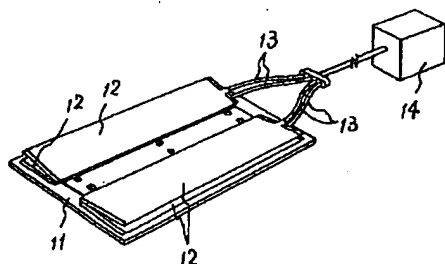
【符号の説明】

- 1 手用空気圧マッサージ機
- 11 固定板
- 12 防縮袋
- 13 ホース
- 14 圧縮空気給排装置
- 2 椅子本体
- 21 肘掛部

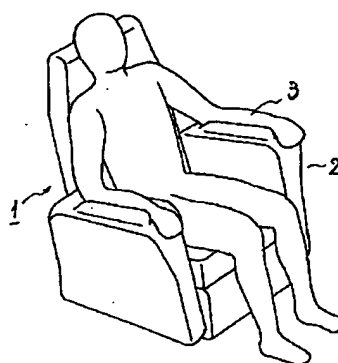
【図1】



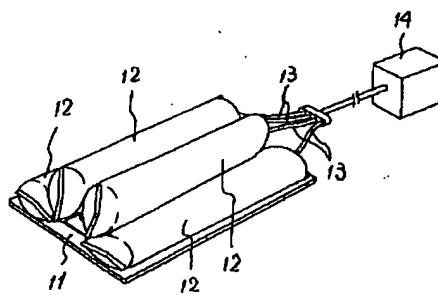
【図3】



【図2】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 和田 正記
大阪府大阪市北区鶴野町4番A-424号
株式会社プロテックフジ内